

算を投入しました。

まず排水整備事業を17路線、延長3.7km、舗装補修工事が15路線、延長4kmを計画し、この二つの事業で一億二千二百万円の町単独財源を投入しています。次に舗装新設が15路線、4.8km、道路改良が8路線、2.3kmで一億六百万円の町費を

産業の振興

重点施策の第2点としては、町の特性を活かした産業の振興です。農林水産業費に三億六千九百七十五万円を計上しました。これは、前年度比で五九・七%、一億三千七百九十一万円増という非常に高い伸び率となっています。

主な事業としては、まず昭和56年度に農林水産省の指定を受けて以来7年目を迎えた農村総合整備モデル事業ですが、この事業は補助率が七十五%という高率のため全国的に非常に希望が多く、なかなか予算が回ってこないのです。が、63年度はようやく一億円を超える予算となり、一億四十四万円が計上されました。現在までに小堤から木戸台に至る集落道の改良などの大型

投入しました。その他東金有料道路の延伸に伴い、一層重要性を増した将来の横芝の幹線道路、坂田・遠山線の延長を考へ、坂田池から国道126号線を経て栗山に至る道路の調査測量費として一千二百万円を計上しました。

事業もこの事業を利用して行ってきましたが、63年度は、その木戸台からの延長の集落道の1路線、あるいは集落排水路整備を6路線等を計画しています。

また、県営事業である古川排水、八田・長倉排水、屋形の湛水防除、さらに新たに始まる栗山の3号排水路の整備などの負担金として六千四百五十四万一千円を計上しました。

その他、成田用水の空港関連事業としての谷台堰の橋梁の架け替えの町道部分の町負担金が一千二百八十六万円、先般の地震災害に伴う湛水防除遊水池の護岸補修に三千四十二万一千円なども計上しています。

公園整備

第3点としては、21世紀へ向けた快適なまちづくりの要として、数年前から取り組んでいる坂田池周辺の公園整備事業ですが、63年度は周辺用地2haの買収をなすべく八千三十三万九千円の土地関連取得費を計上しました。また、

教育環境の整備

昭和63年度は以上の3点を重点として、特に多額の財源を振り分けていますが、さらに第4点としては、教育環境の整備に力を注いでいます。学校教育の現状については、町民の方々に少なからず心配をかけていますが、63年度は次代の担い手である子供た

この公園の内容をより具体的に計画するための実施設計委託費として二百万円を計上しました。これが計上通りにいきますと、今までに61年から買収した面積を加え5.5haの用地が確保できることとなります。特に大総方面よりの道

ちが、明るく健やかにのびのびと学べる環境づくりに意をもちたいと思います。この費用として、小・中学校あわせて五千四十二万円の予算を計上してあります。とりわけ中学校費では、学校現場の要求にたいしてほぼ満額の予算を計上しました。

住民福祉の向上

その他、福祉の面ではきめの細かい保育を目指して、保育所の施設の改善や人的補強に四千四百八十万円を計上しました。また、航空機騒音防止と、コミュニティの推進を目的とした上町共同利用施設の建設に五千四百七十一万二千円を計上したほか、住民要



県営で整備の予定される3号排水路



着々と整備のすすむ坂田池周辺

路に付いた部分に3haの団地ができることになり、これだけの面積があると町民体育祭や出初式、あるいは野球、ゲートボール等で多目的につかえる広場が確保できることとなるため、5.5haの用地確保を63年度で目途をつけたと考えています。

望の強い廃棄物処理対策、あるいは過般の大地震災害を教訓とした各地域の自主防災組織の設置、また新たな方向を打ち出した各種保健健診事業等と行政分野全般に渡っての配慮を施し、住民福祉の向上を図るべく予算編成を行いました。